

近畿大学入試用語集

推薦入試(一般公募)

11月、12月に行う入試で、年内に合否が決まる入試です。他大学の受験が可能です。(専願制ではありません)

共通テスト利用方式(大学入学共通テスト利用)

本学の独自入試は実施せず、「大学入学共通テスト」における本学指定教科・科目の得点と出身高等学校もしくは中等教育学校等の調査書を総合して合否判定します。全学部で、前期、中期、後期の3回出願する機会があります(看護学部は前期・中期のみ)。中期、後期は、大学入学共通テスト受験後に出願できます。なお、医学部では、二次試験(小論文・面接)を実施します。

共通テスト併用方式

本学の「一般入試・前期(A日程)」、「一般入試・前期(B日程)」および「一般入試・後期」と「大学入学共通テスト」における本学指定教科・科目の得点と出身高等学校もしくは中等教育学校等の調査書を総合して合否判定します。なお、学部内併願方式および他学部併願方式でも、利用することができます。

スタンダード方式

一般入試・後期を除く全日程において、受験科目(1科目100点)の総合点で合否判定します。文芸学部では、各科目を等しい配点で判定する「スタンダード型」と、配点の高い科目を設けている「選択科目重視型」、「実技試験判定型」があります。

高得点判定方式

一般入試・後期で行う判定方式です。(医学部・短期大学部を除く)3教科3科目を受験し、そのうち高得点の2教科2科目で合否判定します。ただし、薬学部は、「英語」「数学①」「数学②」の高得点科目と「理科」の2教科2科目、国際学部は「英語」と「国語」「地歴・公民・数学」の高得点科目の2教科2科目で合否判定します。

併願方式

スタンダード方式の結果(得点)を利用して、追加で合否判定を受けることができる制度です。合格者数は、スタンダード方式および各併願方式の受験者数の比率をもとに、募集人員を按分して決定します。

高得点科目重視方式

判定方法: 受験した教科・科目のうち、最高得点の科目(選択科目は得点調整後の点数を2倍に換算し、他の科目との総合点で合否判定を行います。)
※学部内併願方式および他学部併願方式で追加した志望学科・専攻・コースにも出願できます。

英語外部試験利用方式

対象学部: 法学部
対象入試: 一般入試・前期(A日程・B日程)
判定方法: 大学が指定する英語外部試験等のスコアを換算した得点と、スタンダード方式の結果(得点)を合わせて合否判定を行います。

数理重視方式

対象学部: 理工学部
対象入試: 推薦入試(一般公募)
判定方法: 「数学」または「理科」の点数を2倍に換算し、「英語」との総合点で合否判定を行います。
※学部内併願方式で追加した志望学科・専攻・コースにも出願できます。

理科重視方式

対象学部: 薬学部
対象入試: 推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(A日程・B日程)
判定方法: 「理科」の点数を2倍に換算し、他の科目との総合点で合否判定を行います。

生物理工学部独自方式

対象学部: 生物理工学部
対象入試: 推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(B日程)
判定方法: 推薦入試(一般公募)では、「数学」または「理科」の1科目で合否判定を行います。一般入試・前期(B日程)では、「数学」と「理科」の2教科2科目で合否判定を行います。推薦入試(一般公募)では2教科、一般入試・前期(B日程)では3教科受験しないと欠席扱いとなります。
※学部内併願方式で追加した志望学科にも出願できます。

国際学部独自方式

対象学部: 国際学部国際学科グローバル専攻
対象入試: 推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(A・B日程)、一般入試・後期
判定方法: 推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(B日程)および一般入試・後期では「英語」1科目で、一般入試・前期(A日程)では「国語」「地歴・公民・数学」の高得点1科目と「英語」の2教科2科目で合否判定を行います。また、スタンダード方式・高得点判定方式(一般入試・後期)で出願された方は、併願方式としても出願できます。その場合は推薦入試(一般公募)では2教科、一般入試では3教科受験しないと欠席扱いとなります。

情報学部独自方式

対象学部: 情報学部
対象入試: 推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(A・B日程)、一般入試・後期
判定方法: 情報学部において、推薦入試(一般公募)、一般入試・後期では「数学」1科目で、一般入試・前期(A日程・B日程)においては、「英語」と「数学」の2教科2科目で合否判定を行います。また、推薦入試(一般公募)のスタンダード方式または一般入試・後期の高得点判定方式に出願された方は、併願方式としても出願できます。その場合は推薦入試(一般公募)では2教科、一般入試・後期では3教科受験しないと欠席扱いとなります。

看護学部独自方式

対象学部: 看護学部
対象入試: 一般入試・前期(A日程・B日程)
判定方法: 「英語」と「国語」の2教科2科目で合否判定を行います。また、スタンダード方式で出願された方は、併願方式としても出願できます。その場合は3教科受験しないと欠席扱いとなります。

中央値補正法

本学の独自入試では、選択科目間の問題難易差による不公平をなくすため、「中央値補正法」により試験日・学部・選択科目ごとに得点調整を行っています(短期大学部を除く)。また、合否判定については、試験日ごとに行います。
「中央値補正法」とは、各科目の真ん中の順位の人(中央値)の点数を50点に置き換え、他の人の点数を調整する方法です。1001人受験した場合は、真ん中の501番目の人の点数が50点に置き換えられます。

席次	素点			補正点	
	日本史 100点	数学 100点		日本史 100点	数学 100点
1	100	100	▶	100	100
2	95	70		91.7	72.7
3	85	60		75.0	63.6
4	80	55		66.7	59.1
5	75	50		58.3	54.5
6	70	45	▶	50	50
7	65	40		46.4	44.4
8	60	35		42.9	38.9
9	55	30		39.3	33.3
10	50	25		35.7	27.8
11	0	0		0	0
平均点	66.8	46.4		55.1	49.5

数式に当てはめると上の表のような補正点が出ます。
平均点を見れば、選択科目による有利不利が少なくなったことが分かります。

中央値補正法の計算式

- ① 素点 < 中央値の時
$$\frac{\text{満点の半分の点数}}{\text{中央値}} \times \text{素点}$$
- ② 素点 ≥ 中央値の時
$$\frac{\text{満点の半分の点数}}{\text{満点} - \text{中央値}} \times (\text{素点} - \text{中央値}) + (\text{満点の半分の点数})$$

上の表は「日本史」と「数学」が選択科目の例です。ここで選択した科目によって有利不利にならないよう、「中央値補正法」で得点を再計算します。成績順の中央に位置する席次6番目の生徒が50点です。上の数式をあてはめ、補正点を算出します。

他の学部・学科を併願できる方式

●判定方法(得点調整)

大学の独自入試を受験した学部・学科・専攻・コースの受験科目の得点(得点調整前)を併願先の得点(得点調整前)とし、併願先の大学独自入試を受験した受験者と同様に得点調整を行った後、「スタンダード方式」または「高得点判定方式」として合否判定します。(短期大学部については、得点調整を行いません)

▶ 文系学部学部内併願方式

推薦入試(一般公募)および一般入試の全日程において、**経済学部**、**経営学部**、**文芸学部***、**総合社会学部**、**国際学部**の同一学部内の他の学科・専攻・コースを併願し、判定される方式です。併願数に制限はありません。

※文芸学部芸術学科舞台芸術専攻は、一般入試・前期(A日程)と一般入試・後期で併願可能です。

また、文芸学部芸術学科・造形芸術専攻は実技試験判定型を除き、併願可能です。

▶ 文系学部他学部併願方式

一般入試・前期(A日程)と一般入試・後期において、**法学部**、**経済学部**、**経営学部**、**文芸学部**(一般入試・後期「**芸術学科**」**造形芸術専攻**(実技試験判定型)を除く)、**総合社会学部**、**国際学部**、**情報学部**、**短期大学部**の間で、他の学部の学科・専攻・コースを併願し、判定される方式です。併願数に制限はありません。

ただし、短期大学部を第一志望とした場合は、文系学部他学部併願方式は利用できません。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。

▶ 理系学部学部内併願方式

推薦入試(一般公募)および一般入試の全日程において、**理工学部**、**農学部**、**生物理工学部**、**工学部**、**産業理工学部**の同一学部内の他の学科・コースを併願し、判定される方式です。併願数に制限はありません。

なお、**理工学部**、**農学部**、**工学部**では、受験時には併願先の学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。(21~28ページを参照)

▶ 理系学部他学部併願方式

一般入試・前期(A日程)において、**理工学部**、**建築学部**、**薬学部**「**創薬科学科**」、**情報学部**、**農学部**、**生物理工学部**、**工学部**、**産業理工学部**の間で、他の学部の学科・専攻・コースを併願し、判定される方式です。

ただし、**工学部**、**産業理工学部**を第一志望とした場合は、理系学部他学部併願方式は利用できません。併願数に制限はありません。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。(20ページを参照)

▶ 経済学部他学部併願方式

経済学部では、推薦入試(一般公募)において、**産業理工学部**「**経営ビジネス学科**」の併願が可能です。

▶ 経営学部他学部併願方式

経営学部では、一般入試の全日程において、**産業理工学部**「**経営ビジネス学科**」、推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(B日程)において**短期大学部**の併願が可能です。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。

▶ 理工学部他学部併願方式

理工学部では、推薦入試(一般公募)において、**産業理工学部**の全学科、一般入試・後期において、**生物理工学部**、**工学部**、**産業理工学部**の全学科の併願が可能です。併願数に制限はありません。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。

▶ 建築学部他学部併願方式

建築学部では、推薦入試(一般公募)において、**生物理工学部**の全学科、**工学部**「**建築学科**」、一般入試・前期(B日程)において、**生物理工学部**の全学科、**工学部**「**建築学科**」、**産業理工学部**の全学科、一般入試・後期において、**産業理工学部**の全学科の併願が可能です。併願数に制限はありません。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。

▶ 薬学部他学部併願方式

薬学部では、推薦入試(一般公募)において、**薬学部**「**創薬科学科**」で**生物理工学部**、**工学部**の全学科、一般入試・前期(B日程)においては、**薬学部**「**創薬科学科**」で**生物理工学部**の全学科の併願が可能です。一般入試・後期では、**薬学部**の全学科において、**生物理工学部**の全学科の併願が可能です。併願数に制限はありません。

▶ 情報学部他学部併願方式

情報学部では、推薦入試(一般公募)において、**生物理工学部**、**工学部**の全学科、一般入試・前期(B日程)の英・数・理型において、**生物理工学部**、**工学部**、**産業理工学部**の全学科の併願が可能です。併願数に制限はありません。

▶ 農学部他学部併願方式

農学部では、一般入試・後期において、**生物理工学部**の全学科と**工学部**「**化学生命工学科**」の併願が可能です。併願数に制限はありません。

なお、受験時には併願先の学部・学科と共通の科目を選択解答してください。併願先の学部・学科にない科目を解答した場合、併願先の合否判定時には当該科目は0点として扱います。

入試Q&A

近畿大学の情報入手について

Q 近畿大学の説明会や入試対策講座があると聞いたのですが？

A 137ページにオープンキャンパスの日程を掲載しています。その他の入試イベントについても入試情報サイトおよび近大公式LINE(138ページ参照)で随時、最新情報をお知らせします。入試情報サイト(イベント) → 

Q 志望学部を迷っているのですが？

A 気になるキーワードや、取得できる資格、試験科目などの条件から、あなたに合った学部・学科診断が可能です。入試情報サイト(学部・学科診断) → 

Q 各入試の出願状況はどこで調べればよいですか？

A 出願期間中は入試情報サイトに出願状況表を掲載しています。

Q 大学入試についてもっと詳しく聞きたいのですが？

A 大学入試のエキスパートである近畿大学入学センターのスタッフが、みなさんのお問い合わせに分かりやすくお答えします。お気軽に以下までお問い合わせください。
TEL: (06) 6730-1124 (イイニユウシ) (月曜日～金曜日 8:45～17:30
祝日および夏期・冬期事務室一斉閉室期間、休業期間などを除く)
E-mail: nyushi@itp.kindai.ac.jp
住所: 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
近畿大学入学センター
【近鉄大阪線・長瀬駅下車、徒歩約10分】
【近鉄奈良線・八戸ノ里駅下車、徒歩約20分、直通バス約6分】
【JRおおさか東線・JR俊徳道駅下車、直通バス約15分】

入試について

Q 推薦入試(一般公募)について教えてください。

A 11月・12月に計4日間実施します。試験科目は2教科2科目(医学部、文芸学部芸術学科、国際学部独自方式、情報学部独自方式および短期大学部は除きます)。高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を令和8年3月以降に卒業した方および令和9年3月卒業見込みの方が出願可能です。専願制ではありませんので、他大学との併願も可能です。

Q 出題形式はマーク式ですか？ 記述式ですか？

A 入学試験科目の出題形式は全日程、全科目マーク方式です。[実技][小論文][面接]、医学部の[理科]、[数学](一般入試・後期)は除きます。<21～28ページ参照>

Q 文系学部と理系学部とは、どの学部のことをいうのですか？

A 本学では、[文系学部：法学部・経済学部・経営学部・文芸学部・総合社会学部・国際学部・短期大学部][理系学部：看護学部・理工学部・建築学部・薬学部・情報学部・農学部・医学部・生物理工学部・工学部・産業理工学部]と分類しています。

Q 合格するための目標得点率はどれくらいですか？

A 学部・学科・専攻・コースによっても変わりますが、119ページ以降に記載されている前年度の入試結果を参考にしてください。

Q 選択する科目による有利不利はありますか？

A 受験生が選択科目によって有利・不利が生じないように問題の質・量ともに細心の注意を払って科目間のバランスを保つよう配慮しています。さらに公平性を保つために、選択を必要とする科目には「中央値補正法」による得点調整を行っています。<115ページ参照>

Q 共通テスト併用方式の判定科目について教えてください。

A 共通テスト併用方式とは、本学の独自入試と大学入学共通テストの本学指定教科・科目の総合点で合否判定する方式です。本学の指定する試験教科・科目の得点科目と大学入学共通テストの得点科目が同じ科目の場合でも判定可能ですので、あなたの得意な科目を活かすことができます。<37～42ページ参照>

Q 総合型選抜はありますか？

A 総合型選抜は看護学部(専願制)・法学部・経済学部・経営学部・理工学部・文芸学部・総合社会学部・国際学部・情報学部・農学部・生物理工学部・工学部・産業理工学部・短期大学部にて実施いたします。<104ページ参照>

Q 専門高校、専門学科・総合学科等を対象とする推薦入学試験はありますか？

A 専門高校、専門学科・総合学科等を対象とする推薦入学試験は、農学部・生物理工学部にて実施いたします。<106、107ページ参照>

Q 入試日程により難易度は異なりますか？

A 入試問題の傾向・難易度はどの入試においてもほぼ同じです。

Q 出願した試験地で必ず受験をすることができますか？

A 十分な座席を用意していますが、志願者数によっては他の試験地に振替となります。試験地については必ず受験票で確認をしてください。<110～113ページ参照>

Q 制服で受験しても構いませんか？

A 制服または私服、どちらで受験していただいても結構です。温度調節可能なリラックスできる服装が望ましいです。また、英文字や漢字・地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用されていると、脱いでいただく場合があります。

Q 病気・負傷や障がい等のために受験上の配慮を申請したいのですが、どのような手続きが必要ですか？

A 受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、必ず出願開始日の1か月前までに本学入試情報サイトの「受験および修学上の配慮について」のページ(<https://kindai.jp/exam/support/>)より申請してください。受験予定のすべての入試日程で申し出が必要です。



入試情報サイト
(受験・修学上の配慮)

入試Q&A

ネット出願について

Q 受験ポータルサイト「UCARO(ウカロ)」には必ず登録しないといけないのですか？

A 近畿大学に出願するには「UCARO」への登録が必要です。「UCARO」へのアクセスは、83ページをご覧ください。

Q 出願開始前に実際のインターネット出願手順を確認したいのですが。

A 入試情報サイトのエコ出願ページから「お試し版」をご利用いただけます。検定料もこちらで計算することができますので、是非ご利用ください。



エコ出願お試し版→

Q 出願登録後、入力内容の誤りに気付きました。志望学部や試験日、試験地などを変更することはできますか？

A 出願期間内であれば、志望学部・学科、併願の追加、試験地、個人情報等すべての変更が可能です。ただし、入学検定料支払い後の志望学部・学科の変更は、入学検定料の変動が無い範囲に限ります。(事前課題(小論文)は入学検定料の支払い完了後の変更はできません。)入試情報サイトエコ出願ページの「出願する」からログインし、出願内容変更・取消欄の「変更する」を選択してください。<87ページ参照>

Q 入学検定料支払い後、「高得点科目重視方式」などの併願を追加したいのですが。

A 出願期間内であれば、入学検定料の支払い後でも併願の追加は可能です。入試情報サイトエコ出願ページの「出願する」からログインし、「追加出願する」を選択してください。<87ページ参照>

Q 調査書が「出願3か月以内に作成・厳封されたもの」になっていますが、推薦入試(一般公募)で提出した場合、一般入試で再度提出が必要ですか？

A 調査書の再提出は不要です。前回提出したものを流用します。

Q 必要書類を郵送する封筒に指定はありますか？

A 市販の封筒を使用し、出願期間内(出願締切日消印有効)に郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送してください。(ポストへの投函不可)

Q 書類を提出したのですが到着しているか不安です。

A 受験ポータルサイト「UCARO」の受験一覧または、入試情報サイトエコ出願ページの「出願する」からログイン後遷移する《出願一覧》ページにて、出願受付状況をご確認いただけます。【出願登録受理】とあれば必要書類の到着が確認できています。ただし、到着確認には少々時間がかかりますのでご了承ください。<87ページ参照>

Q 出願が完了しているか不安です。

A 「インターネット出願ページでの出願登録」「入学検定料納入」「必要書類の郵送」の3点が完了していれば、受験ポータルサイト「UCARO」の受験一覧、または入試情報サイトエコ出願ページにログイン後、「出願受付状況」に【出願登録受理】と表示されます。<87ページ参照>

その他

Q 特待生以外の奨学金制度はありますか？

A 日本学生支援機構奨学金や近畿大学奨学金、給付型の世耕弘一奨学金(給付)等があります。詳細は入試情報サイトにてご確認ください。<19ページ参照>



学費・奨学金→

Q 入学時納入金の分割納入はできるのですか？

A 推薦入試(一般公募)、一般入試・前期(A日程・B日程)、共通テスト併用方式(A日程・B日程)、共通テスト利用方式(前期・中期)の入学手続時の学費納入方法は、2通り(以下参照)です。(医学部は一括手続のみ)<100ページ参照>

Ⅰ)一括手続 : 入学金と前期授業料等の学費を一括納入する方法

Ⅱ)分割手続 : 第一次手続(入学申込金)と第二次手続(前期授業料等)の2回に分けて納入する方法

Q 入学検定料が返還される制度があると聞いたのですが？

A 一度納入された入学検定料は原則として返還いたしません。ただし、一般入試・前期(A日程)で合格した方が、合格となった学部・学科と同じ学部・学科に一般入試・前期(B日程)で第一志望として出願し、受験しなかった(欠席した)場合、一般入試・前期(B日程)の入学検定料を返還します。詳細については、受験ポータルサイト「UCARO」からダウンロードした「入学手続マニュアル」を確認してください。(共通テスト併用方式(A日程)での合格者、一般入試・前期(A日程)での繰上合格者は対象外)<80ページ参照>

Q 学部振替制度があると聞いたのですが？

A すでに入学手続を完了した人(第二次手続期間内の第一次手続完了者を含む)が、その後の入学試験で新たに合格した学部・学科・専攻・コースの入学金および前期授業料等として、振込済の入学金および前期授業料等を振り替えることが可能です。<101ページ参照>

Q 繰上合格はありますか？

A 医学部を除く一般入試・前期(A日程・B日程)において、各入試日程の合格発表時に繰上候補者を発表します。繰上候補者とは、合格者の手続状況により欠員が生じた場合に繰上合格となる可能性がある受験者です。一般入試・前期(A日程)の繰上合格者は第一次と第二次の2回に分けて発表し、一般入試・前期(B日程)は、1回発表します。また、合格者の手続状況により欠員が生じた場合は、各入試日程において追加合格を発表する場合があります。<99ページ参照>

Q 特待生はどのように選出されるのですか？

A スタンダード方式の得点を用いて、各学部の基準に基づいて選出します。特待生の通知は合格通知に同封して発送します。他学部併願方式の併願先学部でも対象になります。また、在学中も各学部が定めている条件を満たせば特待生に選出されるチャンスがあります。<17、18ページ参照>

★入試情報サイトにもQ&Aを掲載していますので、ご覧ください。